

福島第一原子力発電所

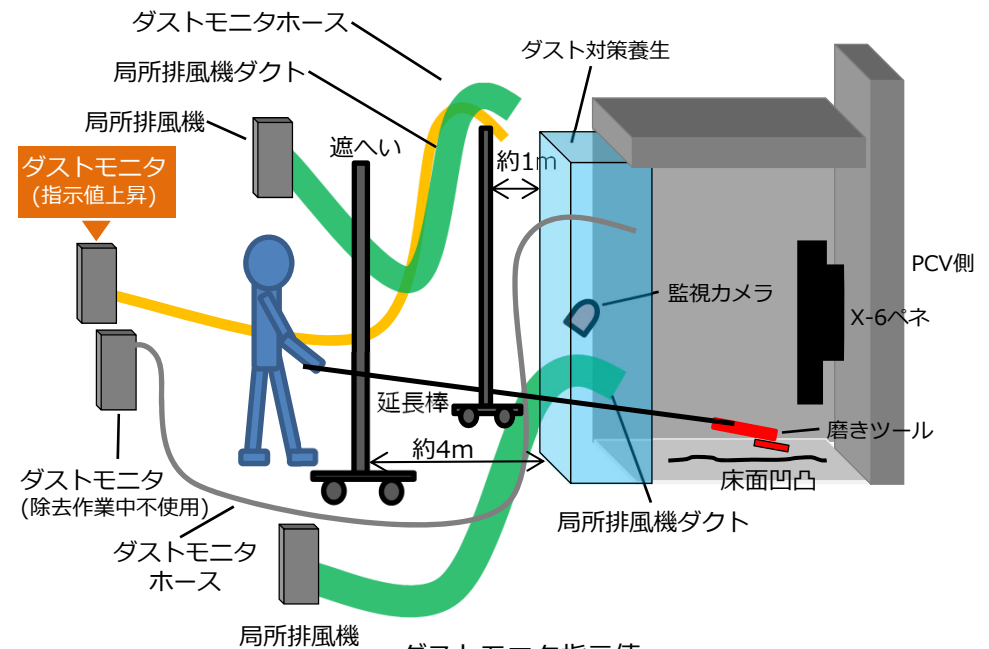
2号機原子炉格納容器貫通孔付近の凹凸除去作業状況について

< 参 考 資 料 >
2022年1月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2号機においては、原子炉格納容器内部調査及び試験的取り出し作業の準備段階として、作業上の安全対策及び汚染拡大防止を目的として、今回使用する格納容器貫通孔（以下、X-6ペネ）に隔離部屋を設置することを計画しています。
- 隔離部屋の設置のために必要なX-6ペネ配管部磨き作業に取り掛かるため、X-6ペネ小部屋内の敷き鉄板を撤去したところ、床面に凹凸があることを確認し、隔離部屋設置他作業に影響があることから、2022年1月7日以降、準備が整い次第、凹凸の除去を実施することとしました。

<2022年1月6日までにお知らせ済み>

- 1月7日、X-6ペネ付近においてダスト対策の養生を実施した上で、作業に伴い設置していたダストモニタにてダスト濃度を常時監視しながら凹凸除去作業を実施していたところ、ダストモニタの指示値が上昇したため、作業を取りやめました。（その後、一時的に作業停止基準値までダスト濃度が上昇）
- 本事案発生後、構内ダストモニタや敷地境界ダストモニタおよびモニタリングポストの指示値に変化がないこと、また作業員の装備は適切であり、外部被ばく線量は計画線量未満で、内部被ばくもなかったことを確認しております。
- 今後、作業時間の短縮等、さらなるダスト抑制対策について速やかに検討してまいります。



■ダストモニタ指示値

指示値（最大）	作業停止基準値
1.18E-03 Bq/cm ³	1.0E-03 Bq/cm ³